

# ふかまちのまど

第一八五号 ○九年十月一日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡先 六三三三八二

## 町内会連合会活動報告

### 深町敬老会(九月二日)

町内会連合会 会長 中村 純

秋晴れの敬老の日、心配された新型インフルエンザも蔓延せず、恒例の敬老会を深小学校屋内運動場で、十時三十分から開催しました。

長寿(七五才以上)の方々が六〇名、この内四七名の参加がありました。

参加された長寿の方の記念写真撮影に始まり、来賓祝辞を頂き、来賓紹介、引き続き祝宴に入りました。



演芸発表で第一部、幼稚園児・小学校四年生による踊りと太鼓、それぞれ元気よく楽しかったです。

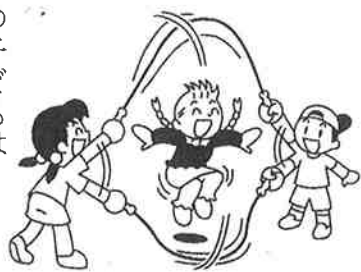
第二部、生で音楽を聴く機会が少くない深町で如水館高校による吹奏楽部(五五名)、千鶴先生の指揮による「日本の懐かし」の歌メドレー「わらべうたメドレー」、素晴らしい演奏を披露して下さいました。

つぎに新しく「ドリームバンド」による、歌・踊り・バンド演奏、「リンゴの唄」に始まり「赤とんぼ」その他合計二十曲、披露して下さいました。

最後は全員の合唱で締めくくりました。

## 深町子ども会

### 子どもをみんなで守りましょう



深小の子どもは

○午後四時頃 下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで

見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

## 歩く会にご参加を

健康づくり推進員 高崎修

酒蔵めぐりと酒祭り (西条)



期日 十月十日(土)

行程

下組発八時十八分のバスにて三原駅へ  
三原駅発九時〇七分の電車にて西条駅へ

この後、酒蔵めぐりと酒祭りの予定  
▲ 深町帰着は午後三時頃の予定 ▲

## 深小だより

### 文化や伝統を大切に

深小学校長 山本 恵司

子どもが成長するのを「すくすく」と形容します。それは、ちようど樹木が真っ直ぐに大きくなるというイメージと重なります。樹木は、大地に根を張り、枝や葉を伸ばし、養分を吸収します。根や枝葉が広がることで、樹木は安定し大きくなります。子どももまた、大地にしっかりと根を張り枝葉を伸ばすことによって、大きく成長します。



子どもにとつて、そのような成長の場は、学校だけではありません。まず、家庭があり、親子の触れ合いが子どもを支えます。また、地域社会の中で、様々な触れ合いの輪を広げ、自らを成長させていきます。

子どもたちは、身近な様々な関わりにおいて、知識を身につけるだけでなく色々な体験を通して、子どもに「生きる力」が身につくのだと思います。

そして、「文化や伝統を大切に育つ心」を育てることは、このように子どもが成長する「土壌」を確保するのではないかと思います。▲

## サンライズ大池だより

### 特設人権相談所の開設

広島法務局尾道支局及び尾道人権擁護委員協議会では、法務局における相談を受ける機会の少なかつた社会福祉施設の入所者とその関係者及び地域住民に対して直接出向いて特設人権相談所を開設し、広く日常のくらしに関する相談を受け、問題解決の一助となるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図る取り組みを行っています。

つきましては、サンライズ大池におきまして次のとおり特設人権相談所が開設されますので町内の皆様、この相談所をご利用頂きますようご案内します。



日時 十一月十一日(水)

午後一時から午後四時

場所 サンライズ大池

相談員 広島法務局尾道支局職員  
人権擁護委員

対象者 施設利用者及びその家族  
施設職員、地域住民 ▲

## 子ども会だより

### 三原市 子ども会球技大会

子ども会会長 松本雅志

九月十三日、秋晴れの中、三原市子ども会球技大会が開かれ深町ソフトボールクラブも参加しました。



一回戦シード  
二回戦 小坂子ども会と対戦し、九対〇で敗退でした。  
今回で六年生が参加する公式戦は終了しました。応援ありがとうございました。

来年に向けて練習試合を続けています。部員も募集中ですので楽しく一緒に参加しませんか。引き続き応援よろしくお願ひ致します。▲

## 深町各種団体十月行事予定

◆町内会連合会  
▼市民体育大会参加 十一日

◆小学校・幼稚園

▼太鼓本舗「かぶら屋」来校一日

▼遠足①・PTA役員会二日

▼保健指導① 五日

▼内科検診・諸雑費集金①・体重測定① 六日

▼集金日 八日

▼びびよハウス① 九日

▼交通指導 十四日

▼クラブ活動 二一日

▼太鼓本舗「かぶら屋」来校 二二日

▼地域参観日・太鼓本舗「かぶら屋」来校 二五日

▼交通指導・子ども教室 二八日

▼お楽しみ会① 二九日

▼テーマタイム 三十日

▼弁論大会 三一日

◆如水館中学・高校

▼入試説明会 十一日

▼中間試験(中学) 十三、十五日

▼(高校) 十三、十六日

▼参観日(中学) 二三日

▼入試説明会 二五日

▼校内大会 二七日

昭和五十年十月十五日午後五時十八分、苦節二十六年、広島カープ悲願の初優勝。選手も熱狂的カープファンも歓喜の涙涙・・・お立ち台(後のカープ監督・プロ野球解説者)は、感きわまって絶叫、号泣した姿が今も強く目に浮かびます。

◆展望席  
今年夏の全国高校野球選手権大会では、如水館高校は一回戦を二対〇で高知をリードするも三回で降雨ノーゲーム。続く再試合も六対五でリードするも五回でまたも降雨ノーゲーム。再々試合では勝利の女神は高知へ微笑み、如水館は無念の敗退。

なんとも言い難い悔し涙が溢れました。この悔し涙を日本一の嬉し涙へと変える如水館高校に期待します。

嬉しい涙、感動の涙、悲しい涙、悔しい涙・・・色々な涙があります。「男はめつたに泣くものではない」とされ、じつと涙を堪えるのが男だとされている向きがあります。逆に女性はそんなことにとらわれずに素直に泣いているように思われます。

泣くことは笑うのと同じくらい体に良いのだそうです。涙からストレスホルモンが排泄されるのです。だから女性は長生きするのかもしれない。

ところで、雀の涙は誰が見たのでしょうか？男性は女性を見習い、雀の涙ほどの涙でも素直に流しましょう。そして、雀の涙ほどの年金を頂いて涙がこぼれても元氣を出して上を向いて歩きましょうか。新政府に夢と希望を託しながら！

